

## 「グローバル人材活用運営協議会」を設立

関経連は、留学生の就業支援に取り組んでいる経済団体等、大学、大学コンソーシアム\*、行政機関とともに、産学官協働による「グローバル人材活用運営協議会」を6月20日(木)に設立した。当協議会は、2011年10月に労働政策委員会・人材育成専門委員会の下に設置した「グローバル人材活用研究会」での議論をふまえて設立したもの。今後、留学生が関西で学び、関西で就職できる一貫した事業に、産学官で取り組んでいく。

### 留学生をめぐる現状と当会の取り組み

現在、日本に在籍する留学生がそのまま日本国内で就職する割合は約2割に過ぎず、さらに、その就職先を地域別に見ると約半数が東京で、大阪は1割にも満たない状況である。一方で、グローバルに事業を展開している企業からは、即戦力となる留学生に、日本・関西で就職してもらいたいとの声があがっている。

そこで、当会では、2011年10月、労働政策委員会・人材育成専門委員会の下に「グローバル人材活用研究会」を設置し、産学官協働による留学生の就業支援の強化に向けて検討を重ねてきた。そのなかで、留学生と企業が交流する機会が不足しており、特に、技術力のある中堅・中小企業の魅力などの情報が留学生にうまく伝わっていないことや、留学生がインターンシップや企業説明会に参加しても、春の一括採用が多くを占める日本の採用慣行そのものが留学生に十分に認知されていないため、就職活動に乗り遅れてしまう、といった課題が明らかになった。

これらの課題解決策として、留学生に対する日本語や日本文化の習得から、インターンシップ、合同企業説明会への参加など、留学生が

関西の大学に入学してから卒業、就職に至るまでの一貫したプログラムを用意する必要があるとの結論に至った。

### グローバル人材活用運営協議会の設立

そこで、留学生が関西で学び、関西で就職できる仕組みを構築するため、「グローバル人材活用運営協議会」(以下、協議会)を設立した(図1)。

6月20日(木)開催の設立総会では、グローバル人材育成・活用委員会の竹本正道委員長(日東電工相談役)が会長に選出され、副会長に

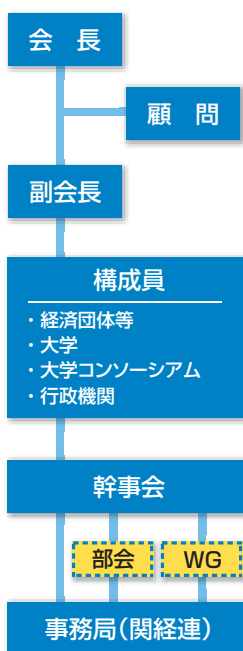
は、神戸大学の藤田誠一理事、副学長と立命館の小木裕文副総長の2名が就任した。

竹本会長は、「留学生を就職させたいという思いは産学官、皆同じである。この協議会は、その思いをつなぐ役割を担っていきたい」との抱負を語った。



設立総会の様子

#### 〈図1 協議会の組織・体制〉



- 会長：竹本正道・グローバル人材育成・活用委員長(日東電工相談役)
- 副会長：藤田誠一・神戸大学理事、副学長  
小木裕文・立命館副総長
- 顧問：坂本和一・立命館大学名誉教授(立命館アジア太平洋大学初代学長)
- 構成員：【経済団体等】アジア太平洋研究所、関西経済連合会、関西生産性本部、京都経済同友会、堺経営者協会、滋賀経済産業協会、太平洋人材交流センター  
【大学】大阪大学、関西大学、関西外国語大学、関西学院大学、京都大学、神戸大学、同志社大学、立命館大学  
【大学コンソーシアム】大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアム京都、大学コンソーシアムひょうご神戸  
【行政機関】大阪労働局、近畿経済産業局
- 所在地：〒530-6691 大阪市北区中之島6丁目2番27号中之島センタービル30階 関西経済連合会内
- 連絡先：TEL 06-6441-0103 FAX 06-6441-0443

## 今後の展開

### ■協議会が取り組む事業の概要

協議会は、以下の5つを事業の柱に掲げている。これらの活動を通じて、関西における留学生数の拡大と留学生の就業者数の拡大につなげ、関西経済の発展に貢献する(図2)。

#### ①留学生の日本語および日本の生活習慣習得のための低学年次からの支援

日本で生活、就職するにあたっては最低限必要な語学力を身につける必要がある。そのため、日本漢字能力検定協会が通常実施する年2回(6月、11月)のテストとは別に、低学年次の留学生を対象にしたビジネス日本語テストを開催し、日本語能力を向上させるための機会を提供する。また、日本特有の就職活動の慣習や日本的雇用慣行に関する理解を促進させるため、留学生OB・OGとの交流会を開催する。

#### ②セミナー・産学交流会を通じた留学生と企業の出会いの場の提供

中堅・中小企業の現場見学会の開催、企業と留学生の出会いの場の提供、そして、インターンシップなどの次のステップへつなげる「産学交流会」を実施する。また、今後留学生の採用を考えている企業を対象にした企業事例報告会等を開催し、受入れ企業のすそ野の拡大に取り組む。

#### ③インターンシップを通じた留学生と企業のマッチング支援

日本企業への就職に対する留学生の理解や、留学生と企業の相互理解を深めるため、インターンシップの受入れ企業の拡大に努める。また、採用も想定した有償インターンシップにも取り組む。さらに、合同企業説明会と面接会を開催し、未内定の留学生を対象にマッチングの機会を提供する。

#### ④日本企業に就職した留学生の定着支援

留学生OB・OG同窓会を創設し、

留学生が就職した後、定期的な交流の場を提供することをめざす。

#### ⑤Facebookによる事業周知と留学生と企業とのネットワークづくり

協議会が実施するさまざまな取り組みを留学生に周知する方法として、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの一つFacebookを活用し、留学生同士のネットワークを構築するとともに、企業とのコミュニケーションをはかる場を提供する。

(協議会公式ページ→<https://www.facebook.com/global.kansai>)

### ■事業の認知度向上に向けて

現在、協議会のシンボルマークを学生から募集中である。シンボルマークにより、事業の一体感を高めるとともに効果的な周知に取り組んでいく。(労働政策部 三浦正博)

#### \*大学コンソーシアム

大学教育に対する社会の期待や学生のニーズの多様化に対応するため、大学間の相互連携を深めることを目的に構成された団体。その事業例としては、加盟大学間での単位互換制度の導入や、インターンシップの派遣先の調整などがある。

〈図2 留学生の入学から卒業、就職以後にかけて提供する事業の流れ〉

